



・子どもたちの様々な活動に、活動の価値を見いだし、それを集団の中に広げて、自己効力感を高めさせる。

(4)『子どもたちのかかわり合いを大事にし、学習や話し合い活動を通して人間関係形成力を育てている』

・かかわり合いは、話し合いだけでなく、共に活動した場においてほめたり、手助けなど力を貸したりなど、様々な関わり合いを学習や話し合い活動の中に仕組む。

・グループエンカウンター、A F P Y、アサーショントレーニング等の人間関係づくりのプログラムも適切に活用する。

(5)『子どもたちの手で何かを創り上げることを大事にしている』

・総合的な学習の時間や、図工の共同製作、社会のグループ研究では、この考え方を生かして、調査結果、完成作品の評価も大切であるが、製作途中や、調査段階での人間関係の衝突や譲歩、お互いの意見の折り合わせなど、このような人間くささの部分の評価も見取りながら、評価する。

---

## 2 農山漁村体験活動 その2

下関市立名池小学校 梶田 崇晴

---

前回に続き、農山漁村体験活動についてお知らせします。

このたび、この体験活動を引き受けてくださったのは、山口県の北部にある阿武町という町でした。そこで、子どもたちがどのような活動を行ったのか、その様子をお知らせします。

1日目：子どもたちはバスに乗って会場である山口県の阿武町へ。会場に着いた子どもたちは、まず入村式を体験。今回のお世話をしてくれるグリーンツーリズムの白松さんのお話に始まり、木を使った名札づくり、そして誓いのことばの発表を行う。その場で昼食をとった後、近くの海岸（清ヶ浜）に行き、鳴き砂復活隊の方たちの指導を受けながら、海岸清掃活動に取り組む。ここでは、中国や韓国など、海を隔ててつながる諸外国からのゴミの山に、子どもたちは本当にびっくりしていた。それから、実際に磯辺に入って生き物たちの観察。普段見ることのできない生き物を見て、大興奮。夜は、二人ペアでそれぞれのホームステイ先に移動し、ホストファミリーの方たちと過ごす。

2日目：山奥にある「あったか村」に集合。そこで、森林の探検、竹を使った笛の製作、お昼のカレー作り、間伐材を使った置物づくり、小川での生き物観察を行う。それぞれの作業では、友達とお互いに声を掛け合い、自然に協力する姿が見られるなど、人間関係を築く場面を見ることができた。

3日目：阿武町にI（アイ）ターンをされている方の家で絵皿に絵を描く体験を行う。午後からは山の中に入り、山菜学習と間伐材を使ったチェーンソー体験などを行った。チェーンソーなどは、普段まったく経験することのないことであるが、森林組合の方たちの丁寧な指導で、全員が経験することができた。

4日目：それぞれのホームステイ先で、これまでお世話になった感謝の意味を込めて、お手伝い体験を行った。各自、二人で相談し合って、部屋の掃除、畑の世話、家畜のお世話などを行ったようだ。その後、町民センターに集合し、離村式を行った。

以上、子どもたちの4日間を簡単に紹介しました。これらの活動にどのような教育的な意義があったのか、次回、考えてみたいと思います。

-----  
3 メルマガ編集部からのお知らせ  
-----

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は280名弱ですこれまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールリングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、メールリングリスト「学級づくり夢工房」を行っています。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールリングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

[sugi-net@jewel.ocn.ne.jp](mailto:sugi-net@jewel.ocn.ne.jp)

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

[sugi-net@c-able.ne.jp](mailto:sugi-net@c-able.ne.jp) または [sugi-net@jewel.ocn.ne.jp](mailto:sugi-net@jewel.ocn.ne.jp)まで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====